

第 2 号議案

平成 29 年度 事業計画 及び 収支予算

【 事業計画 】

当会の平成 29 年度事業計画としては、各種警備活動・災害警備への支援、全国にわたる交流激励会開催、海外研修支援など、恒例の激励支援活動を更に充実していくことに加え、特に高齢者の退会が続出し再び会員減少傾向が顕著となる状況に直面する中で、会の存立基盤の再構築に向け、会員数の維持・増加が喫緊の課題となっている。

また永年功労表彰については、前年度に引き続き会員資格継続 30 年に到達した会員を対象とする。

①機動隊員等に対する激励支援

・警備活動及び災害警備への支援

平成 29 年度は、前年度のサミットのような特別大規模警備支援は予定されていない。大規模警備支援としては、例年通り、広島平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式）、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典、及びその他地域に対する警備支援を継続していく。

更に近年、大規模な地震・風水害などが多発する傾向にあるが、災害警備支援にも、タイムリー且つ効率的に対応すべく、本部・支部間の緊密な連携・調整に努める。

・会員と機動隊員との交流激励会

東京本部と全国 8 支部において、会員と機動隊員・警察幹部との交流激励会を引き続き開催し、隊員の激励と相互理解に努める。なお本年度は、特別大規模警備支援が予定されていないことから、支部交流激励会についても、通常のカ開催時期に戻る事となる。

・文化体育活動

全国優秀機動隊員として警察庁警備局長から表彰された約 100 名の機動隊員による海外警備事情視察・研修に対してこれを支援し、その資質向上に資する。

・機動隊員をはじめとする警察の各種行事への出席

機動隊観閲式・警備訓練更には武道大会などの各種行事に当会役員や会員が出席し、これを激励する。特に支部段階での各種行事への参加を一段と活発化させるべく、本部の協力・支援を強化していく。

②弔意・見舞活動

全国殉職警察官・警察協力殉難者慰霊祭に理事長が出席するほか、機動隊員が警備中または訓練中に殉職・負傷された場合、弔意・見舞活動を行う。

③普及・啓蒙活動

機関紙「はげまし」を例年通り年 11 回発行し、その内容充実に努めると共に、本部・支部総会などについて、活動状況を PR することにより、広く国民各位に対して遵法精神の高揚を図る。更に本年度から、会員・機動隊員双方にとっての「読者参加型」の企画を増加させていきたい。

当会のホームページについては、都度の話題をタイムリーに掲載するなど、その内容充実に努めていく。また平成 28 年末に、過去の総ての機関紙につきホームページの掲載を完了したが、引き続き新規号も掲載していく。

④朝食講演会

例年通り、朝食講演会を年 10 回（6 月と 8 月を除く）開催し、その講演録を機関紙「はげまし」に掲載することで、全国の機動隊員及び会員の知見に役立てる。

幸い出席者数は高水準を継続しており、若手層をはじめとした出席数の更なる拡大と、魅力ある講師の探索に引き続き努力していく。

⑤組織の強化活動

一般個人会員について、平成 28 年度末で会発足以来初めて、1,000 名を割ることが必至の状況にあり、また、退会理由も、退職・退任、高齢、死亡など避け難いものが大半となっている。ご承知の通り、当会は平成 26 年度で発足 40 周年を迎えたが、この長い歴史の中で、個人会員の着実な伝承、若返り化が遅れたものと痛感し強く反省しているところである。言うまでもなく、当会諸活動の一層の充実と財政基盤の安定には、経常収入の過半となる会費収入の維持・増大が不可欠であり、平成 29 年度を、会員、特に一般個人会員拡大強化年度と位置付けたい。

具体的には、理事等の役員、若手の会など夫々の立場に応じて、勧誘目標を定め、会員数の維持・拡大活動を強力に展開していく。

【 収支予算 】

平成 29 年度は、予想される受取年会費の減を賛助広告料の拡大で補うと共に、引き続き事務費用等の削減に努めることとして、前年度の特別大規模警備支援 3,500 千円の支出に見合う経常費用減を図ることとし、平成 27 年度に続き均衡予算としたい。勿論、受取年会費収入の引続く減少等を踏まえれば、相当にチャレンジングな予算とはなるが、何とか赤字回避を目指していきたい。

なお、平成 29 年度予算においても、念の為、1,000 万円を限度として、「はげまし基金」の取り崩し枠を設定することとする。

平成29年度収支予算

(単位：円)

(参考)

勘定科目	29年度予算	28年度予算	
		28年度予算	29予算-28予算
[経常収益]			
受取会費	35,100,000	35,300,000	△ 200,000
講演会参加料	3,500,000	3,500,000	0
激励会参加料	9,000,000	9,000,000	0
賛助広告料	5,200,000	5,000,000	200,000
雑収益	200,000	200,000	0
経常収益計	53,000,000	53,000,000	0
[経常費用]			
弔意見舞金			
大規模警備支援費	1,000,000	1,000,000	0
特別大規模警備支援	0	3,500,000	△ 3,500,000
文化体育活動援助費	8,400,000	8,500,000	△ 100,000
交流激励会活動費	17,000,000	17,000,000	0
機関紙発行費	5,900,000	5,900,000	0
カレンダー発行費	1,150,000	1,150,000	0
会議費	5,700,000	5,700,000	0
給料手当	7,000,000	7,000,000	0
福利厚生費	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費	2,000,000	2,050,000	△ 50,000
通信運搬費	700,000	700,000	0
消耗品費	700,000	700,000	0
新聞図書費	250,000	250,000	0
印刷製本費	450,000	300,000	150,000
賃借料	850,000	850,000	0
諸謝金	400,000	400,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	200,000	200,000	0
雑費	30,000	30,000	0
経常費用計	53,000,000	56,500,000	△ 3,500,000
当期経常増減額	0	△ 3,500,000	3,500,000
[一般正味財産増減額]			
当期一般正味財産増減額	0	△ 3,500,000	3,500,000